

高等学校 芸術(書道) 実技試験問題

I

次の(1)～(3)の古典をそれぞれの指示に従い、臨書せよ。

(1) 牛楸造像記(指示…半紙を縦に使い、毛筆を用いること。)

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書I 高木聖雨著  
光村図書 35ページ

(2) 風信帖(指示…半紙を縦に使い、毛筆を用いること。)

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書I 高木聖雨著  
光村図書 55ページ

(3) 関戸本古今和歌集(指示…改良半紙を縦に使い、毛筆を用いること。)

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書I 高木聖雨著  
光村図書 86ページ

2

次の(1)～(3)に答えよ。

(1) 次の□の中の語句を、次に示す条件を満たすよう揮毫せよ。

〈条件〉

- ・半切を縦に使い、書体は行草に限る。
- ・落款は「葉水書」とすること。

人生有情淚沾臆 江水江花豈終極

(『杜甫』より)

(2) 次の□の中の俳句を、仮名の書の商品として、次に示す条件を満たすよう揮毫せよ。

〈条件〉

- ・仮名の書の特徴を生かして創造的に表現すること。
- ・漢字・仮名の変更、変体仮名の使用は自由とする。
- ・改良半紙を縦に使い、落款印の代わりに「○」を墨書すること。

名月や 池をめぐりて 夜もすがら

(『芭蕉句集』より)

(3) 次の□の中の語句を、示範作品として、次に示す条件を満たすよう揮毫せよ。

〈条件〉

- ・「漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成」の工夫について考えさせることができる作品であること。
- ・「漢字と仮名の調和した線質による表現」の技能について考えさせることができる作品であること。
- ・漢字・仮名遣いは□の中のままとし、半切1/2を使い(縦、横自由)、縦書きとする。書体、行送りは自由とする。
- ・落款印の代わりに「○」を墨書すること。

桃李言わざれど  
下自ら蹊を成す

(『史記漢武篇』より)

3

次の(1)、(2)に答えよ。

- (1) 次の  の中の文をボールペン（消せるボールペンの使用は不可）で丁寧に体裁よく書け。漢字は楷書または行書とし、仮名は連綿させないこと。また、漢字・仮名遣いは  の中の文のままとし、行送りは自由とする。A4判用紙を縦に使い、縦書きとする。

我は海の子白浪の  
さわぐいそべの松原に  
煙たなびくとまやこそ  
我がなつかしき住家なれ

（『われは海の子』より）

- (2) 次の  の中の語句を賞状として丁寧に体裁よく毛筆で書け。  
（所定の用紙を使い、縦書きとする。行送りは自由とする。）

賞状 優勝 三年五組 清水祥太  
あなたは第九回校内百人一首大会において  
頭書の成績を収めましたのでこれを賞します  
令和四年十二月二十六日  
大阪府立南船場高等学校長

